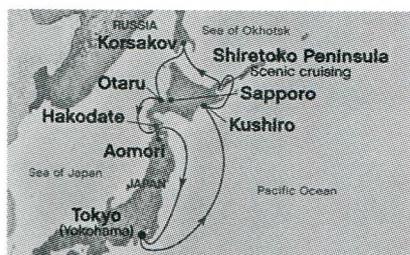


北海道周遊とサハリン

サン・プリンセス — 2013年7月14日から7月23日まで



In command



キャプテン アンドリュー・フルード

キャプテン、アンドリュー・フルード (Andrew Froude) は、英国のヘイスティングスで生まれ育ちました。西オーストラリアのパース近くでも5年間を過ごしています。プリマス航海学校に在学中から航海実習生として勤め、その後、タンカーや貨物船で働きます。1995年、プリンセス・クルーズの一員となり、以来複数の船で勤務をしてきました。初代パンフィック・プリンセスで航海中、キャプテンのフルードは、後に妻となるオーストラリア人女性に出会います。2人は現在、英国のボーンマスとオーストラリアのゴールドコーストを行き来する生活を送っています。

クルーズ要約

港	海里 (NM)	スピード (ノット)
横浜から釧路	572 NM	16.5ノット
釧路から知床半島	251 NM	13.2ノット
知床半島からコルサコフ	173 NM	16.5ノット
コルサコフから小樽	229 NM	18.7ノット
小樽から函館	221 NM	18.4ノット
函館から青森	72 NM	12.0ノット
青森から横浜*	552 NM	18.4ノット

*記載時推定

横浜から横浜までの総航海距離

2,070 海里 (NM) = 2,381 ランド・マイル (M) = 3,830 キロメートル(km)

Note: 1 海里 (NM) = 1.15 ランド・マイル (M) = 1.85 キロメートル(km)



以下は、ナビゲーションブリッジにて当直のオフィサーによって
記録された航海日誌より抜粋したものです。

横浜 – 2013年7月14日(日)

正午位置: 日本・横浜: 大さん橋国際客船ターミナルC 側

天候: 本曇

気温: 30°C/86°F

気圧: 1011.2 HPa

風力: 東ビューフォート風力3

風浪階級: 小波がある(港)

午後5時、停泊地より出航し、東京湾に向け港を出て進みました。午後6時12分、浦賀水道航路へ入る前に第二海堡を左手に過ぎました。浦賀水道を抜けてから、東京湾の水先案内人が午後6時53分に下船し、まもなく洲崎の左側より3.6マイルのところを通過いたしました。その後、東北東にコースを定め、初めのうちは、日本の一番大きな島、本州の東沿岸に平行して進み、釧路に向かいました。

終日航海日 – 2013年7月15日(月)

一日を通して、サン・プリンセスは、釧路に向けて日本の沿岸に沿って進み、北北東のコースを維持しました。正午までに、金華山灯台の55海里北東を通過いたしました。

正午位置: 緯度: 38°49.7' N • 経度: 142°40.9' E

天候: 本曇、にわか雨・所により霧

気温: 18°C / 64°F

気圧: 1009.2 HPa

風力: 北北東 ビューフォート風力5

風浪階級: やや波がある

釧路 – 2013年7月16日(火)

朝、サン・プリンセスは、釧路港へ接岸の態勢に入りました。午前5時57分に水先案内人が乗船し、停泊地に向け防波堤の間を進み、午前7時9分に接岸いたしました。

正午位置: 日本・釧路: 西港、停泊地20-22 側

天候: 本曇

気温: 14°C/57°F

気圧: 1017.0 HPa

風力: 南東 ビューフォート風力2

風浪階級: さざ波がある(港)

午後5時44分、停泊地より出航して防波堤を通過いたしました。午後6時20分に水先案内人が下船し、初めのうちは、南東にコースを定め、日本で2番目に大きな島、北海道の南東に沿い、知床半島に向けて進みました。

知床半島(クルージング) – 2013年7月17日(水)

午前4時33分、左舷にコースを変更し、午前5時に色丹水道を通過いたしました。色丹島と多楽島の間を過ぎた後、北東にコースを定めました。午前8時半、択捉島と国後島の間を通過いたしました。その後、国後島をまわり、根室海峡に向け、南西にコースを定めました。

正午位置: 緯度: 44°30.9' N • 経度: 146°02.4' E

天候: 3/8 曇り

気温: 15°C/59°F

気圧: 1017.5 HPa

風力: 東 ビューフォート風力3-4

風浪階級: やや波がある

午後2時、クルージングを始め、知床半島を周りました。午後5時にクルージングを終え、網走湾を後にして、コルサコフ(ロシア)に向け北西にコースを定めました。

コルサコフ – 2013年7月18日(木)

朝早く、オホーツク海、そして亜庭湾に入り、アニワ岬(Tonino-Anivsky半島)より14マイルのところを右手に通過いたしました。午前4時53分、サハリン島、コルサコフの東より1マイルの位置にて錨泊し、ロシア入国管理局の許可が下りた後、午前7時20分にテンダーボート(交通艇)サービスを開始いたしました。

正午位置: コルサコフ 投錨(緯度: 46°37.4' N • 経度: 142°43.9' E)

天候: 本曇

気温: 16°C/61°F

気圧: 1015.2 HPa

風力: 東南東ビューフォート風力4

風浪階級: やや波がある

午後10時8分、全ての準備が整い、出港許可手続きが完了した後、錨を揚げて来た時と同じ航路に舵を取り、投錨地そして亜庭湾を出ました。

**小樽** – 2013年7月19日(金)

朝早く、Kril'Onsky半島を北に、北海道を南にして、ラ・ペルーズ海峡を通過いたしました。海峡を通過した後、日本海に入り、小樽に向け南にコースを定めました。午前7時52分、小樽の水先案内人が乗船し、停泊地に向けて防波堤の間の航路を進みました。午前8時53分までに停泊地に接岸いたしました。

正午位置: 日本・小樽: 勝内埠頭 1 & 2 側

天候: 2/8曇り

気温: 22°C/72°F

気圧: 1013.7 HPa

風力: 北東 ビューフォート風力 3

風浪階級: さざ波がある(港)

午後6時53分、停泊地より出航して港を後にし、午後7時24分に水先案内人が下船いたしました。その後まもなく、高島岬より2.5マイルのところを左手に通過し、石狩湾を通過して西北西にコースを定めました。午後9時半、積丹半島を周り、函館に向け南にコースを定めました。

函館 – 2013年7月20日(土)

午前4時、小島より5.6マイルのところを右手に通過し、松前半島を周りました。津軽海峡を通過して函館湾に進み、停泊地へ向かいました。午前8時6分に接岸いたしました。

正午位置: 日本・函館: 港町埠頭 1 側

天候: 3/8曇り

気温: 22°C/72°F

気圧: 1014.5 HPa

風力: 南東ビューフォート風力 3

風浪階級: さざ波がある(港)

午後10時52分、停泊地より出航して湾を後にし、青森に向け南のコースを進みました。

青森 – 2013年7月21日(日)

午前4時15分、平館海峡に入り、南方に進みました。陸奥湾と青森湾を通り、接岸の態勢に入りました。午前6時2分に水先案内人が乗船して停泊地に向け進み、午前7時1分に接岸いたしました。

正午位置: 日本・青森: 新中央埠頭 側

天候: 3/8曇り

気温: 23°C/73°F

気圧: 1012.4 HPa

風力: 北西 ビューフォート風力 4

風浪階級: さざ波がある(港)

午後8時48分、停泊地を後にし、青森湾を出て北のコースを進みました。深夜前に、弁天島を周り、東南東にコースを定めました。

終日航海日 – 2013年7月22日(月)

サン・プリンセスは、一日を通して本州の東沿岸に沿い、南方のコースを進みました。午後10時、犬吠埼より15マイルのところを右手に通過し、横浜に向け南西にコースを定めました。

正午位置: 緯度: 38°17.2' N • 経度: 142°15.0' E

天候: 本曇

気温: 18°C/64°F

気圧: 1010.7 HPa

風力: 東ビューフォート風力 3

風浪階級: やや波がある

横浜 – 2013年7月23日(火)*

午前3時15分、浦賀水道の水先案内人が乗船いたしました。その後まもなく、浦賀水道の往復航行分離方式に入り、東京湾へと進みました。湾に入った後、左舷にコースを変更し、午前5時15分、横浜ベイブリッジの下を通過し、印象的な建築の大さん橋国際客船ターミナルの停泊地に進み、午前6時までに接岸いたしました。

正午位置: 日本・横浜: 大さん橋国際客船ターミナルC 側

天候: 5/8曇り

気温: 29°C/84°F

気圧: 999.0 HPa

風力: 東ビューフォート風力 3

風浪階級: さざ波がある(港)

クルーズを最後までお楽しみいただけましたでしょうか。また皆様を興味深くエキサイティングな寄港地へお連れできるときを楽しみにしております。お帰りの際はお気をつけてご帰宅ください。

*記載時推定



サン・プリンセス

運航: プリンセス・クルーズ

全長: 261.3m - 857.2ft

乗客定員数: 2,272名

船籍: ハミルトン、バミューダ

全幅: 32.2m - 105.8ft

乗組定員数: 900名

総トン数: 77,441 トン

造船所: フィンカンティエリ-

国際総トン数: 44,193 トン

モンファルコーネ、イタリア - 1995年

喫水: 8.116m - 26.75 ft

建造年: 1995年 11月

ブリッジコマンドとコントロールチーム

キャプテン	アンドリュー・フルード (イギリス)	キャプテン・イン・コマンド
スタッフキャプテン	スティーブン・レイス (イギリス)	スタッフキャプテン・セカンド・イン・コマンド
首席一等航海士	アルカンジェロ・エルメット (イタリア)	ブリッジマネジャー・船のセーフティーオフィサー
一等航海士	ロサリオ・ウルシノ (イタリア)	シニアオフィサー - プランニングオフィサー
首席二等航海士	アイガー・トリック (クロアチア)	シニアオフィサー
二等航海士	マルコ・マグナラルド (イタリア)	シニアオフィサー
二等航海士	ミシェル・ルツソ (イタリア)	シニアオフィサー
三等航海士	ナターレ・イネーロ (イタリア)	ジュニアオフィサー
三等航海士	マシュー・バロー (イギリス)	ジュニアオフィサー
三等航海士	アルン・トンプソン (イギリス)	ジュニアオフィサー
三等航海士	シモン・バシニ (イタリア)	ジュニアオフィサー
デッキ 訓練生	ショーン・バーク (イギリス)	トレーニーオフィサー
デッキ 訓練生	アゴスティノ・ボンジオバンニ (イタリア)	トレーニーオフィサー
デッキ 訓練生	ジュゼッペ・プロイエッティ (イタリア)	トレーニーオフィサー

1日24時間ブリッジ(操舵室)に二人のオフィサーが常駐しており、4時間勤務し8時間の休憩をとります。

0000-0400 - 0400-0800 - 0800-1200 - 1200-1600 - 1600-2000 - 2000-2400

ブリッジからお別れのメッセージ

このたびはサン・プリンセスにご乗船いただき、誠にありがとうございます。皆様が至福の時間を感じていただけた休日であることを願っております。お帰りの際は気をつけてご帰宅くださいますようお願いいたします。私キャプテンを含む、クルー一同皆様のまたのご乗船をお待ちしております。

キャプテン、アンドリュー・フルード/ブリッジチーム(操舵室)